



# りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第120号

2019年(平成31年)2月発行:住民の会広報委員会 電話:729-0617 発行責任者 佐藤康夫

新しい年を迎えて

ケアセンター成瀬 住民の会

会長 佐藤康夫

あけまして

おめでとございます

昨年12月に町田で活動する様々な団体が集まり、その活動内容を発信する「まちカフェ」が開催され、住民の会も参加、会のPRをしました。私たちはケアセンター成瀬を拠点に諸活動を展開していますが、当日は同じ地域に居住され、町田市その他の団体に所属されている多数の方々に声をかけられ、お互いの活動を

知ることになりました。この経験を契機に、当会も現在の活動範囲にこだわることなく、地域の諸団体と情報交換と連携を深め、「目をもう一歩外に向けて活動していこう」との思いを強くしました。

さて、住民の会は会員の皆さまのご協力とご支援により、設立26周年を迎えることができました。

昨年度の諸々の活動は、会報などによりご存知とは思いますが、最近の活動のご報告及びお願いをさせていただきます。

第一は、一昨年の「住民の会アンケート」に基づき、「花みずきのおしゃべり会」を行うことに致しました。昨年3月より4回の開催で延べ150名の参加をいただき、好評のうちに次の会を3月13日(水)に予定しております。

第二は、「災害時の自助・互助」について10月に開催した講演会では50名の参加を得ました。

「高齢化した住宅地域でどう行動すればよいか?」という内容で、参加された方々から、今後の実生活に生かしていきたいという多数の声がありました。その他の活動では、会員の皆さまの要望が多い「バス旅行」、ボランティア活動

に参加している方々を慰労する「ボランティア親睦会」、会員相互の新年の挨拶を兼ねた「新春交流会」等があります。また、住民の会・創和会・NPOアップルサービスの三者共催で行う「ケアセンター成瀬まつり」では多額の収益を上げることができ、今後の活動資金を得ることができました。

以上活動報告をさせていただきますましたが、住民の会の活動を素早く発信するホームページも充実した内容となっております。ぜひご覧下さい。

本年も昨年と同様な活動を総会にて提案しますの

で、よろしくご協力をお願い致します。住民の会は「町田市ボランティア協議会」に加盟しておりますが、所属する多数の団体が高齢化と後継者不足で脱退、解散を余儀なくされています。組織の活性化に不可欠なのは新しい会員の方の行動力とアイ

デアです。知人や友人の方々に入会を勧めたいと思います。最後に、本年が会員並びにご家族の皆さまにとつてご多幸とご健勝の年でありますようお祈り申し上げます。



ティールーム「花みずき」のお正月飾り。干支のイノシシ・宝船など。住民の会の方による可愛い手作りの作品。

## ケアセンター成瀬住民の会

2019年度通常総会のお知らせ

日時 2019年4月21日(日)  
10:00~12:00  
場所 ケアセンター成瀬  
地下デイサービスフロア

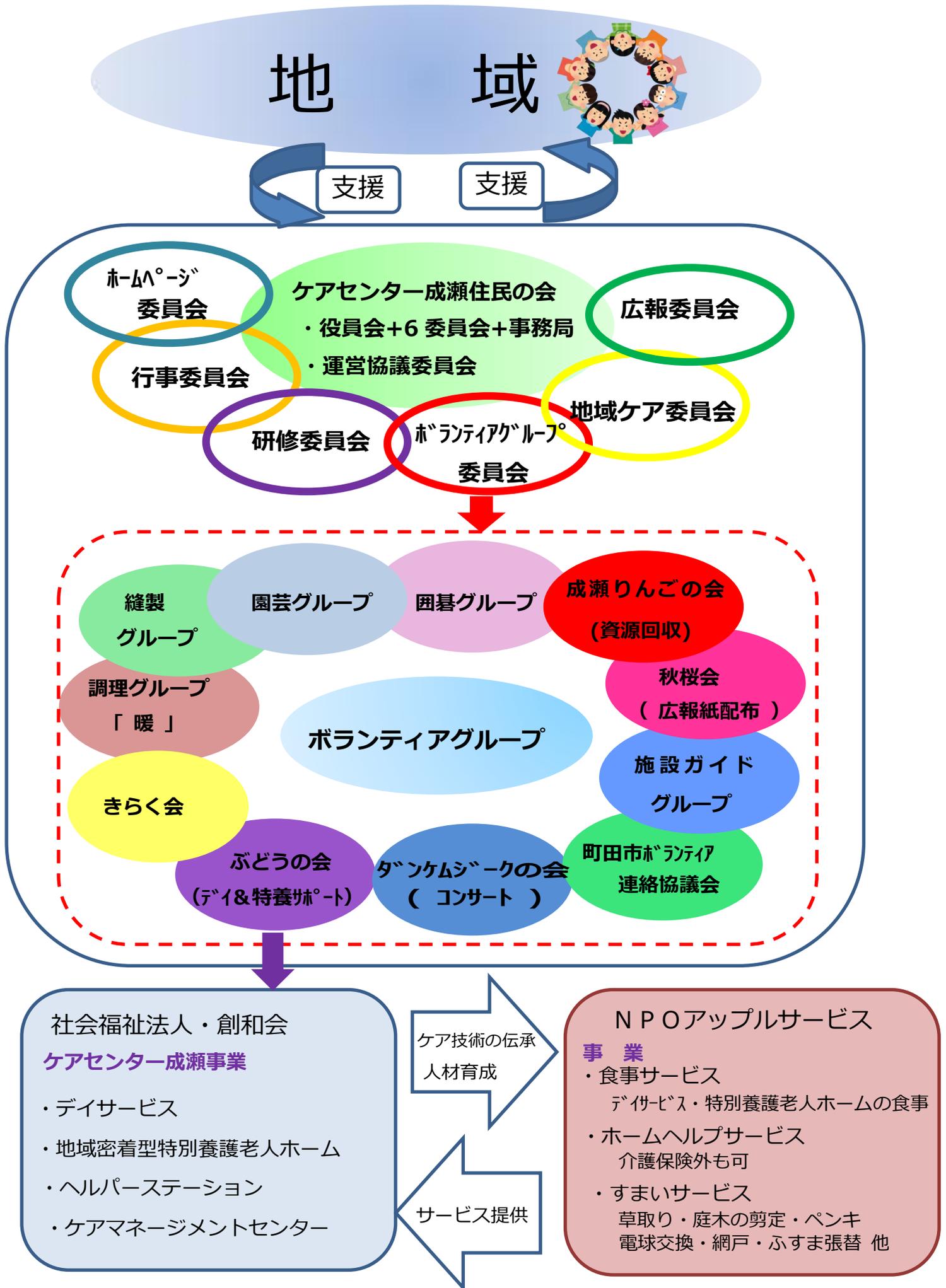
## ケアセンター成瀬住民の会のあゆみ



1992年に立ち上がり歩み始めたケアセンター成瀬住民の会は、正に平成とともに成長してきました。ひとつの時代の区切りに際し、住民の会のこれまでの歩みを振り返ってみました。

1989年	平成元年	(住民の会の前身「暖家の会」が産声をあげる)
1992年	平成4年	・「成瀬台に高齢化社会を共に生きるためのコミュニティーセンター建設を求める陳情」を町田市長に提出
1993年	平成5年	・「ケアセンター建設促進住民の会」設立 ・「ケアセンター成瀬ニュース」第1号発行
1994年	平成6年	・3級ヘルパー養成講座を開講
1995年	平成7年	・「ケアセンター成瀬」着工 ・社会福祉法人「創和会」設立が東京都より認可される
1996年	平成8年	・在宅高齢者サービスセンター「ケアセンター成瀬」開設 ・ティールーム「暖」営業開始 ・「ケアセンター成瀬 住民の会だより」第1号発行 ・13のボランティアグループ結成
1997年	平成9年	・ダンケムジークの会 発足記念コンサート開催
1999年	平成11年	・特定非営利活動法人「エヌピーオーアップルサービス」を設立
2000年	平成12年	・介護保険法施行により、社会福祉法人「創和会」は個人との契約による介護サービス事業者となる
2002年	平成14年	・バザー収益で掲示板を設置し、情報発信を始める
2004年	平成16年	・会の名称を「ケアセンター成瀬住民の会」に変更
2005年	平成17年	・スウェーデンのモニカ・バリルンド氏による講演会「認知症ケアにおける施設と介護職の役割」を開催 ・一人暮らしの高齢者への「ほっとコール」がスタート
2006年	平成18年	・広報紙「住民の会だより」に愛称「りんご箱」を加える
2008年	平成20年	・ケアセンター成瀬まつりの収益でAED(自動体外除細動器)を購入
2010年	平成22年	・ケアセンター成瀬の大改修計画発表
2011年	平成23年	・日本赤十字社を通じ東日本大震災被災地に10万円を寄付 ・地域密着型特別養護老人ホーム ケアセンター成瀬 暖家 開所 ・社会福祉法人「創和会」経営のシニアカフェ「花みずき」開店
2013年	平成25年	・ダンケムジークの会 第50回コンサート開催 ・広報紙「りんご箱」第100号発行
2014年	平成26年	・住民の会設立20周年記念 アルフォンス・デーケン先生講演会「輝いて生きるために」を開催 ・住民の会ホームページがリニューアルされる
2016年	平成28年	・ケアセンター成瀬開設20周年記念行事が開かれる
2017年	平成29年	・ケアセンター成瀬住民の会 活動アンケート実施
2018年	平成30年	・「花みずきのおしゃべり会」がスタートする ・住民の会が東京都知事推薦「生き生きシニア活動顕彰」を受賞する
2019年	平成31年	・「りんご箱」120号(記念号)を発行

社会や環境の変化を受け止めながら試行錯誤を続けてきた住民の会。  
これからも皆の知恵と努力を積み重ね、より良い進化をして行きたいものです。





2004年8月 通常の50号(4頁)と記念号(カラー8頁)を同時発行。記念号のタイトルは「こころのふれあう街づくり」。住民の会の成り立ちと、これからの将来を考える座談会。また分かりにくいといわれている「住民の会・NPOアップルサービス・創和会」の関係も説明されています。



2002年4月(36号)初めて契約トランプルに巻き込まれないために「こんなとこ」警告記事が登場  
この後数回掲載されています



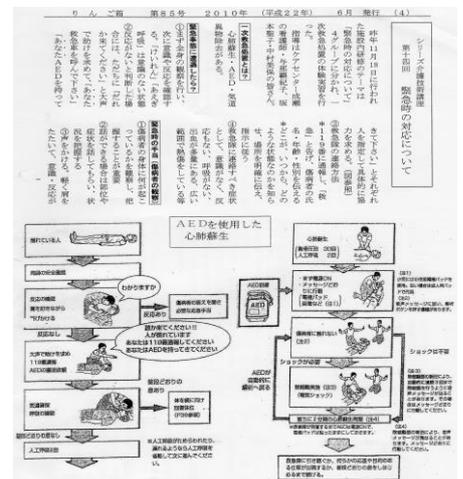
2001年2月、29号で住民の会のボランティア活動は役立っているのかと問う記事が掲載されています。5年を経て高齢化によるボランティアの減少と仕事や家事のために働ける時間が合わないなど問題が提起され、喜んで働ける環境・条件を整え、今後もケアセンター成瀬を支えていこうと、ボランティアの募集も呼びかけています。

「ケアセンター成瀬」で始まった住民の会広報紙名は、18号から「ケアセンター成瀬支援住民の会だより」、49号からは「ケアセンター成瀬住民の会だより」と名称を変え、65号からはそれに「りんご箱」という愛称を加え、現在に至っています。



「りんご箱」100号!!  
2013年10月

2014年1月 20周年記念号  
ボランティアの顔々。現在120名が活躍中!と書かれています。



2010年6月((85)号) シリーズ介護技術講座、緊急時の対応。120号までシリーズで掲載したものは延べ77回。



20周年記念号では、住民の会の歩みをたどりました。

ボランティア親睦会

12月9日(日)ボランティア親睦会が開催されました

今年も残すところあとわずかとなる頃に、1年の感謝を込めて開催されるボランティア親睦会。戸外は寒くなってきましたが、会場は47人の笑顔があふれ、温かいムードでいっぱいです。

共催する創和会、NPOアップルサービス、住民の会のご挨拶から始まり、乾杯、会食、歓談〜。



ちよつと華やかなお弁当を中心に、飲んで、食べて、おしゃべりして。



デザートの「暖」特製のおいしいお汁粉を頂きながら、創和会によるスライドを用いたグループホーム「圓(まどか)」の紹介。現実の一端を学びました。続いて、創和会スタッフ、各委員会、ボランティアグループの紹介です。それぞれに大変なこともあるでしょうが、お元気で、楽しみながら長く続けられますよう、改めて願いました。

みなさま、素敵な新年をお迎えになられたことと幸いです。(永井 まち)



花みずきのおしゃべり会



12月12日(水)1時から第4回「花みずきのおしゃべり会」がケアセンター成瀬会議室を会場に開催されました。

朝方は雨で寒い日でしたが、会が始まる頃には、雨も上がって、お顔馴染みの方や初めての方等が次々に来場。25名が参加してちよつと早めのクリスマスを楽しみました。

クリスマスツリーを飾り、ワインならぬカップコーヒーで乾杯。まじめに考えるとかえって難しい頭の体操クイズに挑戦したり、タンバリンやマラカスを鳴らして季節の歌を元氣よく合唱しました。会場の外にも聞こえたようで「若々しい声だったね。」と評判です。ささやかですがプレゼントが用意され全員ワクワクして受け取りました。

この日のテーブルは可愛く飾ったケーキの他に

ご寄付頂いたお菓子、果物、漬物などが並んで、いつもよりずつと豪華でした。「毎回こうなるといいね。」の声に会場は大笑い。暖かい部屋で、お喋りにゲームにと熱が入ってもつと暖かくなりました。「久しぶりのクリスマス楽しかった。」「初参加でも顔見知りの方がいて安心した。」「また参加したい。」の声も。みんなが集まって笑顔で元氣なひと時を過ごす様子に、私もますます元氣になった気分です。次回も楽しみです。

(高綱 美智子)



可愛いケーキ



1月20日(日)の午後、恒例の新春交流会が開催されました。今年は平成最後で16回目の開催。当日はお天気にも恵まれ約80名の参加者があり、新年から楽しく交流できました。

冒頭に佐藤会長から、様々な行事に多くの参加者があることは素晴らしい。今年も元気で住民の会の活動に参加しましょうと挨拶がありました。小林監事の元気な乾杯の音頭でスタート。



お琴の住吉さん、三弦の齋藤さん、ヴィオラの川口さんの新春にピッタリなアンサンブルに聞きほれ、2番手は子供たちの民謡踊り、花笠踊りでスタートです。子供たちの可愛くてキレイの元気な踊りにみな目じりを下げて見入っていました。

その後原口さんのハーモニカ伴奏で「四季の歌」「ふる

## 平成最後の 新春交流会



さと」を大合唱。トリは「ハットマエダ」さんのマジックショー！近くで見ても全くタネがわからぬ見事な技に脱帽でした。



恒例のビンゴ大会では昨年もトップ賞の村山恵美さんが2年連続の快挙！美しいベゴニアの大きな鉢をゲット！成瀬台グルメリシェイ前の花屋「フラワーキャンディーズ」で購入のきれいな花、例年好評の沢庵や甘納豆など豪華な景品にみなさん大満足でした。



来年もまた元気にこの会に出られるように健康に気を付けましょうと島峯副会長からの閉会の辞でお開きになりました。平成元年に住民の会の前身「暖家の会」が立ち上がり、まさに平成と共に歩んだ住民の会、新しい時代にも、ますます発展していくことを祈念します！(安達 聡子)

「まちカフェ」に  
参加してきました  
佐藤 康夫  
島峯 紀子

昨年12月2日、「いいことさがし」をスローガンにした「まちカフェ！」が町田市役所内の入り口ホールで開催されました。

市民協働フェスティバル「まちカフェ！」は、町市内で活動する市民活動団体や地域活動団体(町内会・自治会)などが一堂に集い、活動発表などを通じて交流を深めるためのイベントです。

当日は町田市内の約100の団体が様々な活動を発信しました。

住民の会も「町田ボランティア連絡協議会」のブースでチラシと広報紙を配り日頃の活動をPRしました。



## ダンケムジーク第65回コンサート

## “音楽のぶらり旅”

～ヨーロッパから

南米、日本まで!～



日時 3月31日(日)

14:00～16:00

出演 アートウェイ・デュオ

タタル・ヘンリ	バイオリン
木下順子	ピアノ

会場 ケアセンター成瀬

地下デイサービスフロア

チケット 700円

住民の会事務局にて2月28日販売開始

※お問い合わせ 事務局 042-729-0617

又は永井 042-724-1535

◎売り上げはケアセンター成瀬に寄付されます。

## 認知症カフェ『Dカフェ』をご存知ですか？

町田市では、認知症のかたが社会と繋がる居場所づくりを目的とした『Dカフェ』を開催しています。『Dカフェ』は認知症のかたやその家族、支援者、地域住民などが気軽に集まって交流や情報交換をする場です。

What is D-cafe?



2018年5月現在、市内には『Dカフェ』が21か所あります。さらに、市内のコーヒーチェーン店の協力により8店舗でも毎月開催されています。認知症当事者やその家族のかたがより行きやすく、社会との継続した繋がりを持ってもらうことを目的としています。

町田市ホームページ内「まちだDマップ」をご覧くださいか、お近くの高齢者支援センター・あんしん相談室にお問い合わせ下さい。電話 042-720-3801(町田市南第3高齢者支援センター)

## これからの催し物(予定)

- ・地域交流会「花みずきのおしゃべり会」  
日時 3/13(水) 13:00～  
場所 シニアカフェ花みずき
- ・ダンケムジーク第65回コンサート  
日時 3/31(日) 14:00～16:00  
場所 ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア
- ・ケアセンター成瀬住民の会 定期総会  
日時 4/21(日) 10:00～12:00  
場所 ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア
- ・きらく会  
日時 2/22(金)12:00～16:00  
3/8(金)11:00～15:00, 3/22(金)12:00～16:00  
4/12(金)11:00～15:00, 4/26(金)12:00～16:00  
場所 ゆりの木会館
- ・NPO アップルサービス 定期総会  
日時 5/19(日) 10:00～12:00  
場所 ケアセンター成瀬 1F 会議室
- ・資源回収(毎月第4月曜日) 2/25・3/25・4/22

添付のプリントをご参照下さい

## 会費納入のお願い

平成30年度会費未納の方は

下記の方法で納入をお願いします。

- 1 住民の会事務局窓口  
(月～土 10:00～16:30)
- 2 郵便振込  
記号: 00120-7-725131  
名義: ケアセンター成瀬住民の会
- 3 銀行振込  
きらぼし銀行玉川学園支店  
口座: (普)060-0501790  
名義: ケアセンター成瀬住民の会

※ ご一報くだされば集金に伺います  
**ケアセンター成瀬住民の会事務局**

住所 町田市成瀬台 3-24-1

電話・FAX 042-729-0617

ホームページ: <http://ccnjk.com>

## 編集後記

話題の映画『ぼけますから、よろしくお願いします』を観てきた。

認知症を患う87歳の母親と介護する95歳の父親の生活を、娘である映像作家の信友直子氏が記録したドキュメンタリー作品だ。

自身の変化に戸惑い混乱する母親を、耳が遠く背中丸まった父親が地方都市の一軒家で世話をする。

仕事を抱えつつ東京から実家に通う一人娘の不安と切なさが胸に迫る。

いくつもの困難に淡々としかも果敢に取り組んで行く父親の姿に涙が出た。

カメラは両親のありのままの日常に容赦なく迫っていくが、二人を見つめる信友氏の視線には常に愛情が溢れている。

この映画に大団円はない。この先も大変なことが沢山起こるだろう。しかしお互いをかけがえのない存在として支え合う三人には特別な連帯感が宿り、不幸という言葉とは無縁だ。

現実から目をそらさず、家族の記録を普遍的な問題提起とした信友直子氏に拍手を送りたい。(柿内)